

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 2 0 日 更新

事務事業名		農道等小規模改良事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋
	施 策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	日高 倫啓
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農地整備班	(内線)	5226
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 12	事業連番 10272	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業用施設に対し小規模な基盤整備を行う事業で、主な内容は以下のとおり ・農道、水路等にかかる除草・伐採作業を行う。 ・農家からの要望で、未舗装の農道整備や簡易舗装のために材料支給（砂利、生コンクリート等）を行う。
【業務の流れ】	①区からの申請 ②現場確認 ③整備作業の実施もしくは材料支給 ④実施・支給状況の確認
【主な予算費目】	・委託料 ・原材料費
【意見や要望】	・農業者の高齢化、後継者不足により、農業用施設の維持管理（特に草刈や水路の泥上げ）が困難である

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO) 農業用施設(農道・水路・調整池)にかかる除草の委託業務を実施した。 また、4件の材料支給を実施した。		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・農業用施設周辺の伐採・除草の業務委託。 ・排水路浚渫の業務委託。 ・農家からの要望で、未舗装の農道整備として砂利等の支給を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 砂利・生コン支給地区数	地区	原材料費について補修用材料の在庫状況及び使用状況による減
→ イ: 生コン支給地区との打合せ回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農業用施設(農道、用排水路等)		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 施工延長
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設及び施設周辺の整備を行い、機能の維持・向上を図る。		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 整備された農道延長
		→ イ: 整備率/計画率
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 認定農業者の占める割合が高いほど効果生まれる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア 地区		3	3	3	2	3	3	3	3
	イ 回		4	1	9	6	9	9	9	9
② 対象指標	ア m		500	400	500	765	500	500	500	500
	イ									
③ 成果指標	ア m		500	400	500	310	500	500	500	500
	イ %		100	80	100	62	100	100	100	0
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3,455	2,323	2,678	1,932	2,597	4,092	4,092
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	3,455	2,323	2,678	1,932	2,597	4,092	4,092
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	0	1,740	0	1,340	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	4	4	0	4	0	0	0
		延べ業務時間	時間	720	440	0	340	0	0	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	0	1,740	0	1,340	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,455	4,063	2,678	3,272	2,597	4,092	4,092

事務事業名	農道等小規模改良事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 農道整備材料の支給について、当初目標よりも打合せ回が少なかったため、目標に達成しなかった。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 予算の範囲内での施工を検討 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 計画的な維持管理を行うことにより、成果の向上が期待できる。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農道・用排水路整備事業を補完する事業である。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 単年度で事業完了し削減の余地は無い。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 申請地区からの労働力提供があり事業は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

現在は地元要望と緊急性の両面を考慮し、順次執行しているが、今後は計画的な維持管理に重点を置く必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）					(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持	○																												
	低下																													
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																														